

KINJO MIND

KIND

No.32

Kinjo University
2021.3

◆在学学生ピックアップ

◆後援会 活動報告

決算見込み及び経費執行経過報告
後援会による主な教育・研究支援について

◆大学行事

卒業研究発表会
新・金城イルミネーション2020「届けよう! 私たちの元気・勇気・笑顔KINJO 2020」
学生との意見交換会
令和2年度金城大学卒業証書・学位記授与式及び金城大学大学院学位記授与式

◆クラブ・同好会活動報告

◆令和3年度大学行事案内

後援会 活動報告

決算見込み及び経費執行経過報告

(購入備品・寄付状況等について)

令和2年度 決算見込み 収入の部 (単位:円)	
会費	18,075,000
利息	30
前年度繰越金	3,699,744
合計	21,774,774

令和2年度 決算見込み 支出の部 (単位:円)	
学生活動支援費	4,799,837
就職・教育活動支援費	6,255,765
会員研修費	0
研究活動支援費	475,200
会議費	0
通信費	466,779
慶弔費	180,000
事務費負担金	500,000
広報費	918,500
雑費	95,887
卒業記念品代	1,150,710
特別会計繰入金	1,000,000
合計	15,842,678

次年度繰越金	5,932,096
--------	-----------

後援会による主な教育・研究支援について

学生活動支援費

環境整備として笠間キャンパスの駐車場用ライト購入や笠間・松任キャンパスの観葉植物設置に対して補助を行いました。

就職・教育活動支援費

年間を通じて、就職支援関係(専門職・一般企業及び接遇関係を含む)、国家試験支援関係、各種資格取得支援関係の対策講座を実施しており、例年、その経費の一部を補助しています。

研究活動支援費

4年生から提出された卒業論文・事例研究の要旨集について、令和3年3月に発行し、全学生に配付します。

広報費

年2回、会報誌「KIND」を発行し、会員の皆様へ後援会の活動報告や学生生活の現況、大学の最新情報等を提供しています。また、ホームページも随時更新し、後援会事業内容等の報告を行っています。

卒業記念品代

ボールペンセットを購入し、令和3年3月18日(木)卒業式当日、卒業生に贈呈しました。

※その他、各費目の詳細につきましては、令和3年度後援会総会(令和3年6月19日(土)開催予定)資料にてご報告させていただきます。

大学行事

卒業研究発表会

【社会福祉学部 令和2年12月～令和3年2月】

【医療健康学部 令和2年9月～令和2年10月】

【看護学部 令和2年12月21日～令和2年12月24日】

卒業研究発表会は、3年次からゼミ教員の指導・支援を受けながら取り組んできた卒業研究の成果を発表する会です。令和2年度の卒業研究発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点等から、医療健康学部・看護学部ともにゼミごとでの発表会となりました。従来のような形式ではないもののパワーポイントやポスターを用いて、自分の研究成果について説明し、質疑応答では発表では伝えきれなかった内容を相手にわかりやすく伝えようとする様子が見られ、活気溢れる卒業研究発表会となりました。社会福祉学部は、例年通り12月から2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を開催しました。

学生との意見交換会

【令和2年10月21日・28日】

学生との意見交換会は、令和2年10月21日(水)に3・4年生、28日(水)に1・2年生と学年別に開催しました。3学部の学生と教職員が施設や行事、授業運営など様々な事柄に関して意見を交わしました。交わされた意見を参考に、よりよい教育環境を提供できるよう努めていきます。

新・金城イルミネーション2020 「届けよう! 私たちの元気・勇気・笑顔 KINJO 2020」

【令和2年12月14日】

今年度も白山市の協力のもと、環境に優しいペットボトルを使用した「新・金城イルミネーション2020」を開催しました。今年度の金城祭代替企画のテーマ「届けよう! 私たちの元気・勇気・笑顔」を意識し、テーマを「届けよう! 私たちの元気・勇気・笑顔KINJO 2020」としました。大学と短大、キャンパスの過去と未来、在学生と卒業生、学生と教職員、大学と地域など、KINJOに関係する様々な対象の想いがイルミネーションの灯りを通して広がっていくことを願い開催しました。

令和2年度金城大学卒業証書・学位記授与式及び金城大学大学院学位記授与式

【令和3年3月18日】

新型コロナウイルスの感染拡大から、本学ではかけがえない節目の行事である卒業証書・学位記授与式への対応を慎重に検討してきました。結果として、安全を考慮し、当日は形式を変更し、本学学内で卒業生(社会福祉学部111人、医療健康学部83人、看護学部85人、大学院修了生5人)と教職員のみで挙行了しました。卒業生一同は、学び舎を後にし、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

在学生ピックアップ

国家試験に向けて毎日勉強中！
地域に貢献できる看護師になりたい

看護学部 看護学科 4年 米田 彩

私は、金城大学に入学してからこれまで講義や演習、実習を通して多くの経験をしました。臨床実習では、認知症や終末期の患者様とのコミュニケーションや、患者様の個別性に合わせた退院指導に苦勞しました。また、患者様とご家族、医療者の間で起こる倫理的課題について考える場面もありました。これらの経験から、看護に必要な知識や技術だけでなく、患者様の生活背景や、生きる上での価値観などを理解した上で、ご家族の意向をくみつつ患者様主体の看護をすることの大切さを学びました。

現在は、看護師国家試験に向けて友人と共に毎日勉強に取り組んでいます。友人と勉強することで、お互いにわからない部分を教え合うだけではなく、精神的にも支え合いながら有意義な時間を過ごしています。

最近では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、医療現場がひっ迫する様子をニュースなどでよく目にします。そのような状況のなか、自分が看護師としての役割を果たすことができるのか不安もありますが、同時にやりがいや責任の重さを改めて感じています。卒業後は、患者様とご家族から信頼される看護師になること、また地域に貢献できる看護師になりたいです。



トリプルライセンスを取得して
子どもや保護者に寄り添える保育者に

社会福祉学部 子ども福祉学科 3年 中田 早紀

私は、3つの資格が取れるという金城大学に魅力を感じ、県外から金城大学を選び、入学しました。現在私は、保育士、幼稚園教諭、社会福祉士の資格を取るために日々勉強をしています。そして、将来は保育者として働くことを希望しています。

保育現場でも、子ども達や保護者の方達と関わるとき、受容・共感・傾聴などの姿勢やあらゆる視点から見ることで、その人や周囲の人たちのことなどを理解し、関係を調整したり、資源に繋がったりできる社会福祉士としての学びはと



もっと専門的な学びを深め、子ども達や

保護者の方達に寄り添った関わりができるように、資格取得に向けて頑張っていきたいと思っています。

10月に行われた幼児教育実習では学んだことが多くあります。子どもと関わる中で、その子の目立つ部分しか見ることが出来ず、「この子は、こんな子」と決めつけがちでした。しかし、じっくり関わったり、見たり考えることで新たな一面を見つめることができました。人は色々な面を持っているので理解するために、日々の関わりを大事にし、あらゆる角度から見たり、考えたりすることが大切だと学びました。また、実習で部分指導を行った際に、発達の把握や安全面の配慮などにおいても自分ではできていませんでした。計画を立てる上で、日々の生活から見てきた子どもの発達や興味関心を取り入れ、あらゆることを想定し安全に配慮しながら、計画を実行することの大切さを学びました。

実習は今後もまだあるので、学んだことを活かし、自分の夢に向かって頑張っていこうと思います。

常に学ぶ姿勢を忘れないことの大切さを学んだ、
実習やオープンキャンパス

医療健康学部 理学療法学科 3年 宮崎 雅史

小学校・中学校・高校と何度も怪我を経験し、その際に理学療法士の先生にサポートしていただき、同じように悩んでいる方の助けになりたいと思い、金城大学に入学し勉強をしています。

現在、コロナ渦の中、3年次の臨床評価実習が終わり次の臨床実習に向けての準備期間です。例年通りの期間での実習は困難な中、多くの経験をさせていただきました。

実習では今まで勉強してきたことを活かすことを意識して臨みました。しかし、実際の現場ではそう簡単にはいきません。患者様ごとの疾患、年齢、生活の仕方、気持ちなど同じ方

はいません。その中でこの患者様の疾患はどのようなものか、目標を達成するために何が必要なのかなど患者様に寄り添い、考えることが沢山あると改めて思いました。

オープンキャンパスでの活動では「靴の重要性について」の発表を高校生に向けて行いました。実際に高校生自身にも体験してもらうことで興味を持ってもらえたと思います。患者様に対してもご自身で体験してもらうことを大切にしたいです。

受け身にならず常に自身から学ぼうとすることを心がけ、患者様に寄り添って考えることのできる理学療法士を目指したいです。そのためにも何かに対して疑問を持ち、解決しようとするを大切にしていきたいと思っています。



クラブ・同好会 活動報告

女子バレーボール部

活動 今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの大会が中止となりました。このような状況の中でも北信越大会と全日本選手権大会に参加できたことはとても嬉しかったですし、協力してくださった方々には大変感謝しています。自粛期間や構内立入禁止期間、練習試合の禁止など初めての経験ばかりでしたが、どのような状況でもベストを尽くすために何をすべきかを一人ひとりが深く考え、チームでよく話し合い実践したことでチームの絆が一層深くなったと実感しています。

活動報告 ・全日本大学選手権大会北信越予選Aグループ1位(全日本大学選手権大会出場権獲得)
・全日本大学選手権大会ベスト16



卓球部

活動 コロナ禍で練習することも難しい中でしたが、通学し練習できる環境になり、大会も徐々に開催されるようになりました。この恵まれた環境にあることに感謝し、各大会で活躍できるようチーム力の向上を図りながら日々練習に励んでいきます。

活動報告 今年は新型コロナの影響で試合が通常通り行われず、北信越の大会も11月の秋季大会から開催され、優勝することができました。全日本予選(天皇杯・皇后杯)では、山形県、千葉県、山梨県で優勝3人、関東ブロック予選を勝ち抜いた1人の計4人が本戦への出場権を獲得しました。石川県の個人のランキングを決める県選手権では、ベスト8に6人が入りました。

音楽部

活動 夏ライブ(9月6日)、冬ライブ(12月19日、20日)

内容

活動報告 夏ライブを体育館アリーナにて行った。また、冬ライブは感染対策を徹底した上でAZにて行った。

ダンス部

活動 週2~5回の練習。合宿(今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため中止)地域や福祉施設でのダンスパフォーマンス披露。(今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため中止)石川県大学ダンス連盟で他大学のダンス部と共に舞台発表。(今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため中止)定期公演開催。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、ほとんどの行事が中止となった。年間30件の演舞依頼も全て中止、小中学校でのダンス指導も同じく中止となった。その中で、毎年行っている定期公演だけは、公式行事として認めていただき、何とか無事開催することができた。

活動報告 18回定期公演「1000%」を2020年12月27日に「こまつ芸術劇場うらら」において開催した。観客はダンス部関係者、同居家族のみとし、その他はオンライン配信にて行った。定期公演本番終了から2週間の自粛を行い、感染者、体調不良者は報告されておらず、無事公演を開催することができた。



キンボール部

活動報告 新型コロナウイルス感染症、感染予防のため活動自粛

硬式テニス部

活動 予定の合う人達で集まって各々活動を行う。

内容

活動報告 今年は新型コロナウイルスが流行したこともあり、外で集まって活動する機会がほとんど無く、全員で活動できたのも昨年の冬に一度あっただけである。また、今年度は学生テニス連盟に登録をし、出場可能な試合の幅を広げたのだが、開催予定であった試合もキャンセルとなってしまったものがいくつかあり、部としてだけではなく個人としてテニスをする機会も激減した年であった。



硬式野球部

活動 北陸大学野球連盟加盟校として連盟主催の春季・秋季リーグ戦、新人戦で好成績を収めることを目標に活動している。今年度は新型コロナ感染症の感染拡大により公式戦と練習ともに例年通りの活動ができなかった。リーグ戦と新人戦は本学の対外試合禁止措置に従い、すべて出場辞退した。練習は8月・9月に週2日の頻度で感染症対策に注意を払いながら行った。

活動報告 新型コロナ感染症感染拡大の影響で対外試合は行っていない。令和2年度 北陸大学野球連盟春季リーグ(2部)大会中止 令和2年度 北陸大学野球連盟春季リーグ(2部)対外試合禁止のため出場辞退 令和2年度 北陸大学野球連盟新人戦 対外試合禁止のため出場辞退 8月・9月に週2日の頻度で練習を行った。



男子バレーボール部

活動 金城大学からの活動支援に感謝し、バレーボールを通じて多くの人たちと親睦を深め、社会から愛される魅力ある人格を養い、何事にも自らが主体的に計画・実行できる体力・精神力・知識力を身につけ、本学に学ぶ学生として健全な成長を図ることを目的とする。目標は、北信越1部リーグ優勝であり、インカレでも注目チームとなることである。活動日一月、水、木、土曜の4回。活動場所一本学アリーナおよび市民体育館

活動報告 春季北陸三県大会1部⇒中止 春季北信越大学選手権大会2部⇒中止 石川県バレーボール祭⇒中止 白山市体育大会(バレーボール競技)⇒中止 東日本バレーボール大学選手権大会⇒中止 天皇杯皇后杯石川県予選大会⇒中止 秋季北陸三県大会1部⇒中止 秋季北信越大学選手権大会⇒出場辞退 石川県6人制男女バレーボール交流会 リンク戦(1勝1敗) 石川県ウインターリーグ⇒中止



学生活動支援費から援助金を交付しているクラブ・同好会の活動報告については、以下の通りです。

男女バスケットボール部

活動 練習では、チームとして何が必要かをメンバーで考えて
内容 活動しています。メンバー同士で確認・話し合うことで切磋琢磨し、よりチームとしての結束力を高めています。今年からは、県内のBリーグチーム「金沢武士団」の試合の補助なども行い、プロのプレーを見て、スキル向上に努めています。

活動 ※今年度は全ての大会において、感染症対策にて大会
報告 参加を辞退【第54回笹本杯争奪北信越大学バスケットボール春季リーグ戦 5月(開催地:新潟県)】感染症対策にて大会中止【第3回 石川県社会人連盟 学生チャレンジカップ】男子、女子とも感染症対策にて出場辞退【第54回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選 10月(開催地:石川県・新潟県)】男子、女子とも感染症対策にて出場辞退 など(運営にて、事務的作業にて協力)



地域間交流研究会

活動 金沢市・白山市・野々市市などの地域イベントの運営、開催補助及び農業体験
内容

活動 コロナ禍により各イベントが全て中止になり、学外との
報告 交流も制限されたため、今年度は全く活動できなかった。

ブルスポーツ金城

活動 スポールブル、ポッチャなどの練習
内容

活動 特になし
報告



Mix Juice 100%

活動 新型コロナウイルス感染防止のため活動自粛
内容

活動 特になし
報告

フットサルサークル

活動 フットサル
内容

活動 月に1回未満、計2回の活動。
報告 大会参加などはなし。他の団体との交流試合なし。



STサークル

活動 ソフトテニスの練習
内容

活動 月2回の練習
報告



吹奏楽同好会

活動 各パート、週1.2回の練習。他団体の演奏鑑賞。福祉施設などでのボランティア演奏
内容

活動 みんなが楽しく活動できる環境を作れるよう頑張っています。新年度に入って新入生を迎え入れることができるよう基礎力向上を目標に、日々活動しています。



バドミントンサークル

活動 週2~3回、昼休みにアリーナで練習
内容 を行った。毎回の参加者は8名から16名程度であった。軽く準備運動をして、基礎練習を行い、その後試合形式で技術を高めた。こうした練習の他、ミーティングを2回持って、メンバーの親睦を図った。

活動 特になし
報告



VORAVO

活動 九州災害ボランティア
内容

活動 7月 九州災害ボランティア
報告

リフレッシュメイト

活動 野外活動や屋内活動を通してレクリエーション活動を行い
内容 い先輩・後輩・同級生、性別関係なく壁を越えて交流し、大学内での関係性を広げることでキャンパスライフ、プライベートをより充実したものにできるよう努めている。また、活動で行ったレクリエーションを実習などでも応用し幅広いコミュニケーション能力や協働・協調性の向上を目指している。

活動 じげんばくだんゲーム、フルーツバスケット、ワードバスケット、クイズいいせん行きましょう、バウンスオフ、おにごっこ、かくれんぼ



《令和3年3月18日》

令和
2年度

卒業証書・学位記授与式



▶令和3年度 大学行事案内(予定)

令和3年度 入 学 式：令和3年 4月 1日(木)
令和3年度 後 援 会 総 会：令和3年 6月19日(土)
第 46 回 金 城 祭：令和3年10月16日(土)・17日(日)
令和3年度 地域別説明会：令和3年12月 4日(土)

▶令和2年度 金城大学 学部・学科構成 一覽



大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

入試広報部	フリーダイヤル 0120-276-150	TEL 076-276-5175(直通)	FAX 076-275-4316	E-mail nyushi@kinjo.ac.jp
-------	-------------------------	-------------------------	---------------------	------------------------------

KIND

金城大学後援会 会報誌[KIND]第32号 令和3年3月31日発行 編集兼発行：金城大学後援会 事務局
(学)金城学園理事長 加藤真一・金城大学学長 前島伸一郎・後援会会長 高松喜与志(高松機械工業株式会社 代表取締役会長)
〈笠間キャンパス〉石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400 FAX 076-275-4316 (URL)https://www.kinjo.ac.jp/ku/kouenkai/
〈松任キャンパス〉石川県白山市倉光1丁目250 TEL 076-276-6630 FAX 076-275-6651 (E-mail)u-koenkai@kinjo.ac.jp